

第三回 帝國議會 貴族院日本銀行納付金三關スル法律案外一件特別委員會速記錄第二號

明治三十二年一月十四日(土曜日)午後一時開會

○委員長(侯爵細川護成君) 是レヨリ開會致シマス、開會ニ先タツテチヨウト申上ゲマス、昨日ノ委員會デゴザイマスガ諸君モ御承知ノ通り今般貞宮内親王御薨去ノ事ガ一昨日ノ官報號外デ發布ニナリマシテ昨日ハ他ノ委員會モ開カレナイト云フコトヲ傳承致シマシタカラ昨日ダケハ休會致シタ方ガ穩當置キマス

○富田鐵之助君 政府委員ニ質問シマス日本銀行ガ今日マデ納メテ居リマス所ノ營業稅所得稅其他家屋稅等總テノ稅ガ本支店ノモノヲ合セテ何程アリマスカ其高ヲ承リタイ

○政府委員(松尾臣善君) 御答致シマス、營業稅トシテ納メテ居ルモノガ七萬貳千百參拾圓七錢貳厘、ソレカラ地方稅トシテ納メテ居ルモノガ七千貳百拾參圓七厘、ソレカラ府下ノ市稅ガ九千貳百五拾六圓六拾九錢參厘、ソレダケデゴザイマス

○富田鐵之助君 所得稅ハ……

○政府委員(松尾臣善君) 所得稅ハマダ今日ハゴザイマセヌ

○富田鐵之助君 家屋稅ハ……

○政府委員(松尾臣善君) 家屋稅モ無シデゴザイマス

○富田鐵之助君 ソレカラ地方ノ支店ノ分ハ

○政府委員(松尾臣善君) 今申シタ中ノ營業稅ト云フノハ本支店出張所共ノ分デゴザイマス、ソレカラ地方稅市稅ト云フヤウナモノハ本店バカリノ分デ地方ノハ此所ニハ分リマセヌ、有リマシタ所ガ極ク僅ナコトデアラウト思ヒマス

○田中源太郎君 日本銀行ノ損益勘定ヲ見マスルト諸稅ガ一百拾參萬七千幾ラト云フノデ唯今ノ御説明トハ大變違フ様デゴザイマスガ

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ兌換券ノ制限外發行稅ガ重モデゴザイマスアリマスカ

○政府委員(松尾臣善君) 制限外ニハ利息ハゴザイマセヌ

○田中源太郎君 私ハ意見ヲ述べヤウト思ヒマスガ、ドチラノ案ヲ先キニ議スルノデアリマスカ

○委員長(侯爵細川護成君) 日本銀行納付金ニ關スル法律案ノ方ヲ先キニヤリマス

○田中源太郎君 兑換券ノ方ハ……

○委員長(侯爵細川護成君) ソレハ御質問ハ一緒ニ願ヒマシタガ唯今問題ニ

ナツテ居ルノハ日本銀行納付金ノ方デアリマス

○子爵岡部長職君 此問題ハ兩案極ク密接ノ關係ヲ持テ居リマスカラ共ニ議スルト云フコトニナラスト不都合デハアリマセヌカ、決ヲ採ル時ハ別トシテ置キマス

○田中源太郎君 ソレデハ私ハ納付金ノ方ニ就テ一ノ意見ヲ述べマス、此ノ意見ハ一緒ニ述ヘルコトニサレタイト思ヒマス

○委員長(侯爵細川護成君) 宜シウゴザイマス、サウ致シマス

○田中源太郎君 ソレデハ私ハ納付金ノ方ニ就テ一ノ意見ヲ述べマス、此ノ意見ハ一緒ニ述ヘルコトニサレタイト思ヒマス

○子爵岡部長職君 此問題ハ兩案極ク密接ノ關係ヲ持テ居リマスカラ共ニ議スルト云フコトニナラスト不都合デハアリマセヌカ、決ヲ採ル時ハ別トシテ置キマス

幾シト云フ國立銀行ガゴザイマス、此國立銀行ノ紙幣ハ三四四五百万圓アル  
政府發行ノ紙幣ハ一億万圓以上アル當時一億四千餘万圓ノ紙幣ノ發行ガアル  
ニ依クテ直ニ此兌換紙幣ノ特權ヲ與ヘルコトハセナカツタノデアル、然レド  
モ其兌換銀行券ノ特權ヲ與ヘルト云フコトハ恰モ此銀行ヲ立テルニ就テノ  
ノ豫約モ同様ニナツテ居ツタノデ當時斯ノ如キ民間ノ利子デアルガ爲ニ僅ニ  
五百万圓ノ株ヲ募ルノニ非常ニ困難デアツク其當時ハ一ノ保護即チがらんち  
ト同様ナモノニシマシタノデドウ云フ風ニ立テマシタコト云フト千万圓ノ  
資本金ノ中デ五百万圓ハ政府デ株ヲ持ツタノデ、サウシテ五百万圓ヲ民間デ  
募集シテ其政府ノ五百万圓ニハ利率ノ配當ニ差ヲ付ケタ、民間カラ募集シタ  
株金ニ對スル配當ト政府ガ持込ンダ株金ニ對スル配當トニ差額ヲ付ケタノデ  
其差額ハアノ趣意書ニ言ツテゴザイマス通リニ百万圓ノ利益ガアツタナラ  
バ先ヅ人民ノ募集株ニハ八分ノ利益ヲ配當シサウシテ政府ノ持込ンダ株金ニ  
ハ六分ノ配當ヲスル一分ノ利ノ差額ヲ付ケテ之ヲ保護トシテヤル、ソレカ  
ラ今一ツハ國庫金ヲ取扱ヘバソレニ非常ノ利益ガアルト云フコトヲ示シテサ  
ウシテ一般人民カラ株金ヲ募集シタノデアツタノデ恰モ其募集スルノガ餘程  
困難デアツタ一種國家ニ對スル義務ノ如クニ言ツテ募ツタ、從ツテ私共モ其  
勸告ニモ隨分與リマシタガ其勸告ニハ應セナンダ位ノコトデアル、當時ノ模  
様ハ斯ノ如キ有様デアツタガ餘程困難シタ未減ク募り得タ其募リニ應ジタ者  
ハドウ云フ都合デ募リニ應ジタコト云フト將來望ガアル即チ多望ナルコトヲ  
宛ニシテ目下一方ニ利益ガアルニ拘ハラズ此募集ノ將來ニ望ヲ屬シテ募集ニ  
應シタノデ其後明治十七年ニ至ツテ兌換銀行券條例ト云フモノガ發行セラレ  
タソレカラ二十年デシタカ二十一一年デシタカニ至ツテ此政府ノ持株ハ此年ハ  
確カトハ覺ヘマセヌガ帝室財產ニ移サレタ、帝室財產ニ移サレタカラ二十一  
年マデハ民間ノ持株ト政府若クハ帝室ニ變ツテカラ矢張此配當ニ差ガ付ケテ  
居ツタノデニ分ノ差ガ付イテ居ルトキモ一分ノ差ノ付イテ居ルトキモアリマ  
シタ、トウトウ二十二年ニ至ツテ帝室ノ御持株政府ノ持株ト人民ノ持株ト  
ハ同様ニナリマシタノデ是ニ至ツテ株券ニ對スル保護ト云フコトハモウナク  
ナリマシタ、一ツ之ニ變リマシテ即チ兌換銀行券發行ノ特典此特典ガ殘ツテ居  
ルダケデゴザイマス、此兌換銀行券ノ發行ニ就キマシテモ段々沿革ガアル、例  
へハ元ト七千萬圓ノヲ八千五百萬圓ニシタトカ云フコトニ付キマシテ此沿革  
ハ申上ゲズトモ、諸君モ能ク御承知デゴザイマセウ又政府ハ二千二百萬圓貸  
上金ニ就テモ元ト利子ガ付イテ居リマシテ之ヲ保證準備ノ制限ヲ踏マズニ其  
ヨリ餘程多額ノ收益ヲ得タカ得ナイカト云フコトヲ查察スルノガ最モ必要カ  
ト思ハレル、之ヲ調べテ見マスルト、尤モ此明治二十八年カラ三十一年ノ間ト  
云フモノハ御承知ノ如ク金融ガ逼迫デ金利ガ昂騰シテ銀行營業ト云フモノニ

非常ナ利益ガアツテ即チ銀行營業ニ就テハ繁昌ナ時デアツタ、其繁昌ナコト  
ハ各地方ニ續々他ノ事業ヨリモ多ク銀行ノ起ツタコトニ就テモ證明シ得ラレ  
マス、是ガ一番繁昌ナ時ト思ハレル、其繁昌ノ時ノ十分ナ利益ガドノ位デアツ  
タカト云フト明治二十八年ノ一箇年ヲ平均シマスルト此日本銀行營業上ノ資  
本金ニ對シテ得マシタ利益ハ七朱六厘明治二十九年ノ利益ガ一割強デ三十  
年ノ利益ガ一割六分ニナツテ居リマス、此ノ如キ利益デアルノデ、ソレカラ  
一方他ノ少シモ保護ヲ得テ居ラナイ、特權ヲ得テ居ラナイ、普通銀行ノ利益、  
之ヲ大分調ベマシタガ皆多ウゴザイマス、昨年ハ皆多ウゴザイマシタ、現ニ  
今日二三日以前カラ各新聞ニ出テ居リマスル計算ニ依ツテ歩合ヲ見テ見マス  
ルト即チ三十一年ノ下半期ノ計算、三菱銀行デ一割五分、百三十銀行ガ一割二  
分、之ハ大阪デゴザイマス、尙ホ大阪ノ鴻池銀行ガ一割九分七厘、京都ノ商  
工銀行、是ハ私ノ持ツテ居ル銀行デゴザイマスガ一割七分五厘、東京ノ二十  
七銀行ガ一割九分ニナツテ居リマス、此ノ如ク各私立銀行ノ歩合ハ廻ツテ居  
リマスル、マダ此昨年ナドノ利益ハ東京ノ三井三菱第百ナドハ非常ナ利益デ  
是ハ一々申シマセヌガ今此處ニ二三日前カラ新聞ニ廣告シテ居ルタケヲ抜萃  
シテ計算ヲ立て、見ルト此ノ如キモノデアル、サウシテ見ルト特權アルガタ  
メニ果シテドレダケノ餘計ノ利益ヲ得テ居ルカト云フト餘リ澤山ニ得テ居ル  
ト云フコトハ言ヘナイコトニナル、而シテ一方日本銀行ヲ設立シタキノ目  
的ガ達シ得テ居ルカト云フト、ソレダケ多クノ利益ハ得テ居リマセヌ、一方  
ノ設立シタ目的ハマダマダ決シテ達シ得ルドコロデハナイ、半マデモ往ツテ  
居ラナイ、第一此都鄙ノ金利ガ平均シテ居ルカト云フト決シテ平均シテ居リ  
マセヌ、是ハドウデアルカト云フト日本銀行ガマダ日本ノ全國ニ對スル、內  
地ダケニシテモ資本ノ過不及ヲ十分ニ平均サセナイノデアル、即チ九州ヘ往ツ  
テ御覽ナサイ、金利ガ大變高イモノデアル、北海道ヘ往ツテ御覽ナサイ、同  
シク高イモノデアル、爲替ノ鹽梅ガドウアルカト云フト、例ヘバ大阪カラ九  
州ヘ金ヲ送ルニハ非常ニ高イ、九州デ金ヲ入レルニハ無手數デ送ツテ居ル、  
北海道モ亦此ノ如クシテ居ル、是ハ何故ナレバ九州北海道ノ支店ヘ資本金ヲ  
多ク置カナカカラサウヨク出來ヌノデアル、サウシテ過日御示シニナツタモ  
ノニ依ツテ見ルト政府ハ先ニ既ニ高等商工會議ガ議決シタコトハ日本銀行ノ  
目的デアツテ自然行フテ居ルト云フコトデアリマシタガ、斯様ニ支店ガ四ヶ  
所出張所ガ四ヶ所位デハ決シテ十分ニナツテハ居ラヌ、爲替モ十分ニ圓滑ニ  
ナツテ居ルカト云フニ決シテ圓滑ニナツテハ居ラヌ、是ハ先ニ設立シテカ  
ラ既ニ十箇年ニナリマスガマダ其目的ガ達シテ居ラナイ、ソレカラ利息ヲ低  
減シタカト云フト決シテ低減シテ居ラナイ、多少ハ低減シテ居リマスルガ、今  
日既ニ眼前ニ内地難居ノ追ツテ居ル折柄ニ今日ノ利息ハ果シテ外國人ト競争  
シ得ラレマスカ否ヤ、日本ノ公債ノ利子ハ五分デアル、日本銀行ガ漸ク利子  
ヲ引下グテヤツテ居リマスガ、今日ノ目的トシテ居ルノガドウカト云フト殆  
ト八分以上デ、是デ利息ヲ低減シテ居ルト云フコトガ言ヘマセウカ、又外國

ノ資本ト競争ガ出来得ラレマスカ、内地ノ商工業家ハ資本ガ充實シテ居ルカト云フニ一向發ト云フト決シテ充實シテ居ナイ、割引手形ガ發達シテ居ルカト云フニ一向發ト云フヤウニナル、ソレカラ低廉ノ資本ヲ以テ金融ヲセネバモノデアル、其外國手形モドウ云フ都合ナモノカ確トシタコトハ私モ知リマセヌガ聞ク所ニ依リマスガマダ十分デナイ、正貨ノ吸收ハドウカト云フト、是ハ漸ク正金銀行ニ依ッテ引換ヘラレル外國手形カ一千五百萬ソコソコラノモノデアル、其外國手形モドウ云フ都合ナモノカ確トシタコトハ私モ知リマセヌガ聞ク所ニ依リマスレバ畢竟正金銀行ガ糸荷爲替ナラ糸荷爲替ニ付シマシタモノノ割引手形ヲ取りマシテサウシテソレヲ正金銀行ニ流用シテヤツテサウシテ向フデ正金銀行ガ取立テテ居ルト云フダケデ正貨吸收デナクシテ其拂ハ盡ク兌換券デ拂フノデ幾分カ正貨吸收ニハナリマセウガ十分ノコトニハナツテ居リマセヌ、デ今日ノ有様デ往々タナラバ矢張リ此香港上海ばんくトカちや一とるばんくナドニ爲替ノ何ハ占メラレテ仕舞フノデ是等ニ對シテモマダマダ擴張シナケレバナラヌコトガ澤山アラウト思ヒマス、デ此ノ如ク特權ニ對シテモマダ十分ノ利益ヲ得テ居ルト云フコトハ申セマセズ、設立ノ目的ニ對シテモ未だ達シテ居ルト云フコトモ言ヘマセヌ、然ルニ此所ニ納付金ヲ課スルト云フノハ餘程私ハ不穩當思フ、國家ノ爲メニ損デアルト云フコトハ課稅ヲシテサウシテ往カウト云フノハ縱ヒ外國ニ於テ其發達シタ銀行ニ對シテ納付金若クハ課稅ガアルニシタ所ガ今日ノ我國ノ中央銀行ニ對シテ稅ヲ課スルト云フノハ餘程私ハ不穩當思フ、國家ノ爲メニ損デアルト云フコトヲ思フノデ、サリナガラ是迄此通リデ日本銀行ニ對シ來リマシタノデアル、其所ヘ向ケテ今度三千五百萬圓ノ保證準備ヲ増スト云フノデアル、國家經濟ハドウデアルカト云フト國家ノ經濟ハ極ク困難シテ居ルト云フ時ニ付キマシテ私ハ收支ハ假令三千五百萬圓増サウトモ無稅ニシタイト云フ位ノ趣意デトヲ思フノデ、サリナガラ是迄此通リデ日本銀行ニ對シ來リマシタノデアル、ハアリマスルケレドモ今日ノ國家ノ財政又ハ今更ニ三千五百萬圓保證準備ヲ増スト云フニ付テモ全クノ無稅ト云フコトモ亦此國家ニ對シテ日本銀行ガ不都合ト思ヒマスルカラ私ハ多少ノ稅ヲ課シテサウシテ特典ニ對スル餘裕ノ途ハ餘程明ケテ置キタイトスウ思ヒマスル扱テ其稅ヲ取ルニ付キマシテ一方納付金ト云フ説ガゴザイマス其一方納付金ト云フ説ハゴザイマスルガ此納付金ヲ是非ソレニシヤウト云フ説ハ此日本銀行ハ性質國家的ノモノデアル其組織ハ株主ノ株金ト國家ノ付與シタル兌換券發行ノ二者デアル、此ノ如クデアルケレドモ其性質國家的ノモノナルガ故ニ金融ヲ疏通スルト云フ經濟ノ調和發達ヲ計ルト云フ又財政ノ安固ヲ計ルト云フノ義務ガアル義務ガアルケレドモ其組織ガ合資ナルガ爲メニ國家モ亦其利益ノ割賦ヲ受ケルノガ當然デアル然ハレドモ前言フ義務ガアルニ付テ此株主ニ相當ノ割賦金ヲ先取リサシテ其餘裕一部ヲ受ケヤウト云フニスルノガ即チ政府案ノ納付金ヲ主張セラル說デアル、而シテ衆議院ガ之ヲ發行稅ニ修正ヲセレラシタ其修正ニ對シテ納付金稅ヲ主張セラル政府ニ於キマシテハ若シモ發行稅ヲ課スルトキニハ全ク百般ノ事業ヲ補助スル資本ニ課スルモノデアルデ誠ニ不可デアル、ソレカラ資本ノ流通ガ屈伸自在ニ働くベキモノニ之ニ課スルノガ餘程不都合デアツテ

遂ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、即チ屈伸自由ニ働くコトガ出來ヌ活動ルコトガ出來ヌト云フヤウニナル、ソレカラ低廉ノ資本ヲ以テ金融ヲセネバナラヌモノニ此發行稅ニ課スルコトニシタナラバ金利ヲ低落スルト云フノ趣旨ニ反スルノ結果ヲ生ズルデアラウ、斯ウ云フ御按ジデ：之ヲ一言スレバ即チ發行稅ヲ課スルトキハ金融ノ自然ノ調和ヲ妨害スル、且ツ此兌換銀行條例ヲ立ツタ組織ヲ滅却スルモノデアル、斯ウ云フ御説デアリマス、併ナガラ私ハ矢張リ此發行稅ヲ善シトスルモノデアル、此納付金説ハ日本銀行ノ株金ト政府ノ特典タル兌換銀行券ノ發行トノ合資デアルガ如クニ述ベラレマスケレドモ決シテ合資ノ性質ノモノトハ全ク違ヒマスル、日本銀行ハ此特典ヲ受取ルガ爲メニ條例ト定款ニ基イテ政府ノ指揮監督ヲ受ケテ居ル、サウシテ前來申シマスル義務ヲ帶ビテハ居リマスルガ併ナガラ其組織ハ全ク一個ノ株式會社ニ違ヒナインデ、之ヲ兌換銀行券ノ特典アルガ爲メニ政府トノ合資チャト云フノハ全ク是ハ半官業トスルノ謬リデアル、性質ソシナモノデナイト思フ、尤モ紙幣ノ發行權ナルモノハ國家ノ特權ニ違ヒナイ、此國家ノ特權ヲ國家夫レ自身が行ハズシテサウシテ日本銀行ニ任セタト云フモノハ是ハ全ク國家自身が取扱フヨリハ國家ガ十分監督權ヲ以テ大ナル資本ヲ備ヘ確實ナルモノニ取扱ハシメル方が便宜デアル、此便宜上之ヲ取扱ハシムルニ至シタモノデアツテ決シテ、有形ノ資本ヲ以テ之ヲ合資シタモノトハ是ハク謬リデアラウト私ハ思フ、而シテ若シモ一步ヲ讓ッテ假ニソレガ道理ナルモノトシマシタ所デ若シ政府案ノ如クニ利益金ヲ分配スルト云フコトニナリマシタナラバ此日本銀行ハ將來法定ノ最少額積立ノ外ハ決シテ備ヘナイト云フコトニナル、是ハ事實サウナルダラウト思フ之ニ對シテ過日政府委員ハ或ハ認可權ガアルカラ不認可權モ亦アルト此監督權ヲ利用スルガ如ク御説明デゴザイマシタガ是ハ決シテ利用スルコトガ出來ヌ、ナゼナレバ一方ニ最少額ノ積立ト云フモノヲ認定シテアル、積立ヲ最少額ニシタラ其積立ト云フ役カ濟シテモウ少シ澤山積マナケレバナラヌト云フ制裁ヲ置キマシタナラバ卒ザ知ラズ、左モナクシテ是ダケヲ引イテ是ダケハ殘ルト云フコトニ立テマシタノデ其外ニ積立金ヲ置カナケレバ不認可ヲスルト云フコトハ是モ出來ヌ、是ハ監督權ヲ用フルト云フコトハ決シテ出來ナイダラウト思フ、ソレカラ又今一ツハ日本銀行ハ是カラ積立金ヲ大ニシ尙ホ積立金ヲ大ニシマシタ所デ四千貳百萬圓シカ今日ノ株金ト共ニシタ所テ之ヨリナイ、之ヲ各國ノ中央銀行ヲ比例如シマシタナラバ實ニ非常ノ少額デアル漸ク其金ト云フモノハちやーとるばんくノ預り金ダケニモ足ラナイ如キ資本デアル、之ヲ大ニシマシタケレバナラヌ、ニモシナケレバナラヌ、若シモ其場合ニ至リテ一方ニ第一配當トカ第二配當ト

カ云フ制限ガ株券ニ對シテ立ツテ仕舞タトキニ此株券ヲ増スハ非常ナ困難ヲ生ズルデアラ、ソレデドウシテモ此納付金ト云フモノハ私ハ不都合ナモノデアル、又理窟ニ取りマシテモ不都合ナモノデアル、一般ノ利ハ受ケルガ之ヲ合資トシマシタナラバ利モ受ケルガ損モ受ケナケレバナラヌ、然ルニ政府ハ利益金ヨリ外ノ損ハ受ケナイ、唯タ利ヲ取ラヌト云フダケニ止マテ其以上ノ損害ハ受ケナイコトニナリマスカラ私ハ此納付金ト云フノ制ハ取リマセヌ、而シテ此衆議院ノ修正説デグス、是ハ私ハドウシテモ過度ニ失スルヒマス、衆議院ノ彼ノ案ニ千分ノ十五ト云フコトガゴザイマスガは私ハ餘程苛酷ニ失スルジヤラウト思ヒマス、何故ナラバ若シモアノ如クニシマシタナラバ私ガ今此所デ勘定シテ見マスルニ是ヨリ後ノ發行高ハ一億二千萬圓ト云フ制限ニナリマス、此中デ二千二百萬圓ト云フモノハ政府ヘ貸上ゲマスル、ソレカラ現在ニ四百五十三萬圓ト云フモノガ銀行紙幣償却金ノ貸シニナツテ居リマス、百二十萬圓ガ銀行紙幣デ出テ居リマス、是ハマダ發行スルコトハ出來マセヌ、ソレカラ貳千萬圓ト云フモノハ正金銀行ノ勵ヲモウ一ツ換ヘマシテサウシテ外國手形ノ割引ニ對シテハ今デ日本銀行ガ二分デ貸シ正金銀行ガ三分五厘デ割引ヲシ詰リ一分五厘ノ差ヲ取シテ割引ヲシテ居リマス、是モマダイケマセヌ、モウ一ツ改正シテ喧マシク言フテ譬々敲イテ手段發達サセナケレバナラヌ、此事ニ就テハ金子君カラモ議論モアツタヤウデゴザリマスカラ申シマセヌガ額ハ殖シタイト思ヒマス、之ヲ先ツ假ニ貳千萬圓ト云フコトニスル、サウスルト残リ七千貳百萬圓ト云フモノニナル、其中デ壹億貳千萬圓デハアリマスケレドモ決シテ壹億貳千萬圓ベツタリ發行シ得ルモノデハナイノデ、之へ支店出張所ヲ澤山置カウト云フコトニシマスルト其置クニ就テ各地ニ資本金ト云フモノヲ、皆ナ別ニ遊バスモノヲ置カナケレバナリマセヌ、ソレカラ常ニ發行權ニ餘裕ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌ、サウセヌト一ツ躡クト直ニ制限外ノ發行ト云フコトニナツテ來ル、ソレハ先ツ壹千萬圓ト見積リマシタガ壹千萬圓位デハ決シテイケヌト思フケレドモ先ツ之ヲ假ニ一千萬圓トスル、サウスルト六千二百萬程ニナリマス、ソレニ是ハ餘程高ウゴザイマスガ假ニ現在ノ利ヲ盛リ掛ケマシタ即チ年八步ノ利ヲ盛リ掛ケテ見マシタ所ガ其利益ガ四百九十九萬程ニナリマス、其他ニ正金銀行カラ二千萬圓ニ對シテ二分ノ利デ四十萬取ル、サウスルト五百三十萬程ニナリマス、デ其中デ先ツ有形上損スルダケノモノヲ引去リマス、無形ノ損ハ澤山ゴザイマスルガ有形ノ損即チ金デ直ニ損スルモノガ發行費ニ對シテ凡ソ二十萬程ガ是ガ國庫取扱ノ費用ニ損スルノデ、之ハ現在要ルダケノ費用デ、ソレカラ支店出張所ニ例ヘバ臺北ノ出張所トカ北海道ノ出張所トカニ損シテ居ルモノガアル、ソレガ凡ソ三十萬程ゴザイマス、其他ニマダ一ノ損ガアル其他ノ損ト云フノハ即チ保證準備ノタメニ、一方デソレハ紙幣ハ發行シマスルガソレニ對スル保證準備ニ就テ矢張リ公債證書ヲ其ノナリデ備ヘテ居ル、其

額ガ凡ソ四千萬以上アルヤウニ考課狀デ見エマス、是ハ矢張リ五朱ヨリシカ動イテ居ラヌモノデアル、其差損が假ニ四千萬ト見積シテ百貳拾萬、一方ヲ八朱ト見ルト三朱ノ損ガ立ツテ居ル、是ガ百貳拾萬程ニナツテ居ル、サウシテ残ヲ見テ見マスルト貳百八拾萬程ノ利益シカナ、一億二千万皆籠メテ其位シカ利益ガナイコトノ勘定ニシカナリマセヌ、併シ是ハ有形上ノ損ノミ、デ程モ一億二千萬圓今日ノ儘デ先縁リ出テ居ルモノトシテデス、然ルニ此無形上ノ損ト云フモノガ澤山ゴザイマス、若シ此金ヲ是ダケ利益ガアルカラ是ダケオコセト云フコトニナルト決シテ政府ノ監督モ要ラズ義務モ盡サヌデ宜イ國家的ニ勵カヌデモ宜イ、併シ其無形上ノ損ハ隨分澤山多イ先ニ比例ヲ示シタ處ノ私立銀行ノ利益ト是ダケ特權ヲ得テ居ル銀行トノ釣合上却ツテ私立ノ特典ヲ受ケテ居ラヌ方ガ利益ガ多ウゴザイマス、ソレデ此上カラ持ツテ來ルト此十五ヲ取ルト云フノハ非常ニ苛酷ナリト私ハ思ヒマス、是ハ此ノ如クニ取シタナラバソレコソ非常ニ此特典ニ對スル裕餘ト云フモノハナクナリマス、ソレデ私ハ稅ヲ十分減ジマシテ、以前國立銀行ノ紙幣發行稅ト云フモノガゴザイマスガ、是ガ四デゴザイマス私ハ先ツアノ率ニ微ヒマシテ七十修正スルコトヲ希望イタシマス、サウシテ一方義務ヲ私ハ十分殖シタイ、即チ此高等會議ガ望ミマシタ如クニ海外貿易ノ低利ノ資本ト競争スルタメニ低利ノ割引ニ十分務メルト云フコトヲサセテ、ソレカラ支店出張所ノ數モ私ノ希望スル所ニ依ルトマダ中央ニモ一ヶ所足リマセヌ、ソレカラ東北地方ニハ二ヶ所ホド足リマセヌ、ソレカラ北海道地方、中國地方、四國地方、九州地方ニハ尙ホ二箇所程ノ支店出張所ヲ置カレタイト思ヒマス、是ダケ私ガ今望ミニマスルダケデハ八九箇所ゴザイマス、サウシテ此送金手形及此取立手形ノ如キハ十分ニ此無手數料デヤラシタイト思ヒマス、デ其他此高等會議ガ望ミマシタコト、即チ政府ノ設立ノ目的ニ副フベキコトヲ十分ヤラシタイト思ヒマスルデはハ即チ隨分政府ノ監督權デ往ケルコト、思ヒマス、ソレデ多少或ハ國立銀行ノ紙幣發行稅ト同シ事ニスルノハ或ハ寛ノ如クニアリマスルガ其義務中ニ餘程餘裕ヲ明ケテ置キマスカラ、其義務ヲ盡サスノハ國家ニ於テ稅ヲ取ルドコロデハナイ、非常ナ得ト思ヒマス、二十萬圓ヤ三十萬圓ノ稅金ドコロデハナイ大ニ國家ニ益スル事ト思ヒマス、是ダケノ意見ヲ提出致シ併セテ希望ヲ述ベテ置キマス

○金子堅太郎君 段々今田中君ヨリ納付金制度ノ不完全デ發行稅ガ完全ダト云フヤウナ御意見デアリマス、進シテ千分ノ十五デハ苛酷ダ十デモ苛酷ダ、國立銀行ニ依ツテ七分マデト云フ御演説ガゴザイマシタ所ガ我ミハ實申シマスレバ政府提出ノ納付金ノ制度ニシテモ唯、大藏大臣ノ御演説ノ通リニ納付金ガ減ルト云フ事が一ノ缺點デアル、是ハ修正スレバ我ミガ憂フル點ハ如何様ニモ修正ノ文字ニ於テハ付ケラレ必ズシモ最少限ニ引キ去シテ跡ハ積マセヌト云フコトハ更ニナイカラ跡ノ殘リノ金デ積立金ヲ殖ヤス一項ニ二項モ加ヘレバ此不完全ナモノハ能ク政府ト協議シタラバ補ハレヤウト思ヒマス、又發

ハ税ニ就テモ千分ノ十五ガ苛酷ダ十モ苛酷ダ七ガ宜イト云フ事ニ就テハ又我  
ニモ餘程考慮ヲ要サナケレバナラズ、又進シテ一億二千萬ノ發行ハ必要デア  
ル、大藏當局者ノ御配付ニナシタ版圖ノ廣ガリ人口ノ殖エ會社ノ資本金ノ殖  
エ政府歲出歲入ノ殖エト云フ標準カラ仰シヤレバ一應御尤デアリマス、又  
我實地實業社會ニ就テ調ベマスト云フト、東京大阪ノ如キハ現ニ所謂日本銀  
行ノ兌換券デ月末ニ勘定ヲスル、所謂現金ヲ受渡スト云フコトガ段々減ッテ來  
タ、東京ノ如キハ實ニ月末ノ取引ノ如キモ先ツ爲換デ手形償還法ニ進ンデ居  
ル、殆ド倫敦、新約克ノヤウニナリツ、アル、然ルニ現金ノ必要ト云フモノ  
ハナイト云フ事ノ論モ立ツ、是等ハ餘程重大ナ問題デアリマス、尙ホ進ンデ  
兌換券ガ足ラナイカラ今度三千五百萬圓殖スト仰シヤレバレドモ我ミハ明治  
十五年明治政府ノ立テ財政ノ基本金融機關ノ制度即チ商業銀行ト農業銀  
行ト動產銀行トノ三ツノ銀行ヲ確立サセレバ十分今ノ八千五百萬圓デモ宣イ  
カモ分ラナイ、ト申シマスルモノハ此大藏省カラ御配付ニナシタ表ヲ見マシ  
テモ三十一年一月末日ニ本統ノ手形ニ化シタノガ二千二萬圓、株券抵當付ノ  
見返擔保品一千三百萬、殆ト半分以上、二月ガ一千七百萬圓ノ商業手形ニ  
一千萬圓ノ見返擔保品、三月モ二千萬圓ニ見返擔保ガ一千三百萬圓、四月ガ  
二千二百萬圓ニ見返擔保ガ一千四百萬圓、五月ガ一千萬圓ニ見返ガ一千二  
百萬圓、六月ガ二千萬圓ニ見返ガ一千二百萬圓ト大抵日本銀行ノ當然ノ仕事  
即チ商業手形ノ割引ノ半分以上ハ株券抵當、所謂動產銀行ノ仕事ヲシテ居  
ル、故ニ大藏大臣ノ計畫ヲ極メテ成ル可ク速カニ議會ニ出サウト仰シヤシタ  
動產銀行が出マスレバ少ナクモ一千萬圓、多ケレバ一千七百萬圓ノ金ハ此實  
業界ノ希望スル商業割引手形ニ廻ハサレル、然ラバ一億二千萬ニ増スト云フ  
コトモ一ツは考ヘモノデアラウト思ヒマス、又モウ一步日本銀行ノ本體ノ  
論カラ論ジマスレバ曩キニ政府委員モ御話ニナシタ通リニ我ミ調査シタ結果  
ニ依リ獨逸ナリ、白耳義ナリ、奥地利匈牙利ナリ、正貨準備ノ三倍マデハ兌換  
券ヲ發スル特權ガアルノデ然ルニ日本ハ絶東ノ鎖國的金融ヲ以テヤル、ソレ  
等ハ己ムヲ得スケレドモ、正貨準備ノ九千萬圓以外ニハ一錢タリトモ増發ス  
ルコトハ出來ヌト云フ窮屈ナ制度デアル、今日世界的ノ金融機關ニスル以上  
ハ日本銀行ハドウセ又要求シヤセヌカト云フ事モ考ヘル、詰リ千分ノ十五ダ  
キニ當シテ甚ダ困ル、ソレデ地租增徵ノトキニモ言シタ通リニ、財政ノ鞏固  
ト云シタテモ、財政グラ井ノ事ハ……家國ノ經濟ガ枯渴スレバ政府ノ財政ガ  
困難スルト云フノガ我ミ共ノ論デアル、獨リ我ミノミナラズ苟モ經濟ノ原  
則ヲ知ル人ハ皆同感ダラウト思ヒマス、故ニ此論ハ金融機關ノ本論カラシテ  
一ツ極メテ日本銀行モ正當ナル所ノ立脚ニ据置キ又政府モ其時ニ於テ不便ガ  
アレバ稅ヲ取ルガ宜イ、又日本銀行モ増發シナケレバナラズ實況ナラバ一億

○田中源太郎君 私モ金子君ノ御意見デゴザイマスガ實ハ動產銀行ヲ希望ス  
ルノ一人デアリマスガ、動產銀行ト此或ハ抵當見返品ニ對スルノ割引トシタ  
ノニ就テハ多少ノ關係モゴザイマセウガ兌換銀券ノ保證準備ヲ殖ヤスト云フ  
コトニ付テ左程ノ關係ハアルマイト思フ而シテ兌換銀行券ノ保證準備ヲ殖ヤ  
スト云フコトハ私共ハ目下ノ急ト思フ唯國家全體ニ對スルノ所謂通貨ノ多少  
デゴザイマス御承知ノ如ク昨年來制限外兌換券ト云フモノハ全ク臨時非常ノ  
時ニ伸縮スペキモノデアルニ拘ハラズ平常ニズット使用シ來シテ居ルハソレ  
ハ則チ少ウナラヌケレバナラヌノガ當然ト思フ、ナゼナラバ此過日來政府委  
員ガ種々ノ統計ヲ以テ御説明ニナリマシタ如ク私モ高等會議ニ建議シマシタ  
種々ノ統計ガゴザイマスルガドウシテモ我邦ノ正貨ガ今日ノ有様デ足リナイ  
ト云フコトハ種々ノモノデ證據立ラレヤウト思ヒマス、或ハ一方ニ動產銀行  
ヲ起シマシテ正貨ノ吸收ヲ澤山ニシ得ラレル時期ニナリマシタナラバ其額ハ  
自然ニ減ルカモ知レマセヌガソコノ時期ニ至ルマデハ今日ノ我邦ノ通貨ハ足  
リナイト云フコトハ種々ノコトデ證明シ得ラレヤウト思ヒマス、而シテ動產銀  
行ガ立テマシタトテ今茲ニ政府案ガ提出ニナリマシタ所ガ中々此株券ヲ募  
ルノハ容易ナコトデナイ、之ヲ創立シテ果シテ其目的ノ通り活動シ得ラル、  
ノハ三年五年ノ星霜ヲ經シゲレバ出來ナイ、直ニ此機關ヲ以テ外資ヲ輸入ス  
ルト云フコトハ出來得ラル、カモ知リマセヌガ假ニ出來得ラレルトシタ所ガ  
ニナルノハ私モ希望致シマスルガソレガ爲メニ動產銀行ノ案ノ出ルマデハ此  
政府ガ保證スルトシテ其保證ニ對スル抵當ヲ入レマスレバ矢張通貨ノ額ハ元  
元ニナシテ仕舞フダラウト思フ、ソレモ漸々動ノ附クヤウニナルニハ中々二  
年三年デハ中々活動ハシ得ラレナイト思フ、今ニモ一日モ早ク之ヲ提出  
ルト云フコトハ出來得ラル、カモ知リマセヌガ假ニ出來得ラレルトシタ所ガ  
ニナルノハ私モ希望致シマスルガソレガ爲メニ動產銀行ノ案ノ出ルマデハ此  
案ヲ議サナイト云フコトハ私ハ全然不同意デゴザイマス、ソレハ多少ノ關係  
ハアリマスガ左程重キ關係ハ持タナリ、今動產銀行ノスヘキ範圍ヲ胃シテ條  
例ニ抵觸シテ所謂見返リ品ニ附イテ居ルカト問フテ見タラ幾分カ範圍ヲ胃シ  
テ居ルダラウト私ハ思フ、去リナガラ其額ハ千百萬圓カ千二百萬圓ソコソコ

デアルノデ此額ハ見返リ品ニハ貸シテ居リマスルガ矢張リ社會ニ貸シヲシテ居ル金ニ相違ナイ抵當物ノ如何ニ拘ハラズ社會ニソレダケノ通貨ヲ要シテ居ルニ違ヒナイノ故ニ動產銀行ガソレダケノ今三千五百萬圓ヲ殖ヤサントスルダケノモノヲ他カラ硬貨ヲ持ツテ來テ此社會ニ散ラケタラ卒ザ知ラズ左モナクシテモ全國デ物ト物トノ交換デ差ヲ補フテ居シテ助ケテ行ク通貨ト云フモノハ其紙幣ヲ一億九千萬圓ト致シマスレバ其九千萬圓ハ矢張要求シテ居ルニ違ヒナイノデアリマスカラ左程ニ私ハ之が出タ以上デナイト此額ヲ定メルト云フコトハ不都合デアルマデハ關係ハ持タナイモノト思ヒマスル、工業銀行案ガ提出ニナルマデ見合ハセルト云フコトハ私ハ此案ニ對シテハ待ツノ必要ハナカラウト思ヒマスル

○子爵岡部長職君 本員ハ唯今金子君カラ發議ニナリマシタ趣意ニ贊成ヲ致

シマス、唯今田中君カラ段々此兩案ヲ速ニ決スルノ必要ヲ御認メニナリマシテ甚ダ御說ノ所ハ御尤ニ存ジマスガ本員ノ金子君ノ說ヲ贊成スルト云フ趣意ハ決シテ此案ガ委員會ニ於テ長ク議了セズニ置カウト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデハナイ、必ズ近イ將來ニハ議スルコトニナリマセウト存ジマス、ソレ過日大藏大臣ニ於テモ動產銀行ノ計畫ハ政府ニアル、成ルベク速ニ此案ハ議會ニ提出シヤウト云フ明言モアリマシタコトデアリマシテ決シテ此案ノ提出ト云フコトモサウ今日ヨリ大ニ暇ノカヽルコトデモアルマイト云フコトヲ本員ハ信シテ居リマス、シテ見レバ一方ノ其案ノ出ルト云フコトヲ期シテ居リナガラ夫ハ夫、是ハ是トシテ議了スルト云フヤウニ左程急グコトモアリマスマイト存ジマスルカラシテ旁々暫ク此案ハ委員會ニ於テ議了スルト云フコトヲ見合ハシタラ宜カラウト云フ考ヲ持チマシテ金子君ニ贊成ヲ致シマス者デアリマス、決シテ田中君ノ御說ヲ唯徒ラニ長ビカウト云フ趣意デハアリマセヌ

○委員長(侯爵細川護成君) 田中君ニチヨット申シマスガアナタハ御意見ヲ御述ベニナッタ譯デゴザイマスカ別ニ動議ヲ御提出ニナッタ譯デハナインゴザイマスカ

○田中源太郎君 意見即チ動議ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマス、第一ニハ金子サンノ先決問題ニ對シテ意見ヲ述ベマシタノデゴザイマス、初手ニハ則チ本案ニ對シテノ意見ヲ述ベマシタノデゴザイマス○富田鐵之助君 政府委員ニ御尋シタイノデゴザイマスガ、先日大藏大臣ノ御臨席ノ節ニ金子君……○委員長(侯爵細川護成君) チヨット御待チ下サイ唯今金子君ヨリ先決問題トシテ一ノ動議ガ出テ居リマス

○富田鐵之助君 ソレデ私ハ承リタイノデ

○委員長(侯爵細川護成君) リナラ宣シウゴザイマス

○富田鐵之助君 動產銀行ノ御話ガアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ必スシモ此議場ニ提出ニナルト云フヤウナハキリシタ御說デハナカツタヤウデゴ

ザイマス、協議シテ居ルマダ内閣ノ議ニ懸ツテ居ラヌト云フヤウナ御話デアツタト記憶シテ居リマスガ其中御出シニナルノカ、御出シニナラヌノカ、ハツキリ此所デ御説明ヲ請ヒタイサウスレバ此先決問題ニ對シテ意見ヲ述ベタイノデアリマス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 先達大藏大臣ガ此所デ申述ベラレマシタノハ計畫ハシテ居ル、成ルタケ早ク持出ス考デ居ルト云フダケノ御話デ愈々此議會ニ御約束ヲシテ持出ストマデハ言ハレナカツタノデアリマシテ我ミ共ガ命ヲ奉シマシテ取調ベテ居マスノモ丁度ソレ邊マデノ進歩デアリマス

○金子堅太郎君 ソレダカラ我ミガ此案ヲ議スルソニ甚ダ迷フノデアル、御出シニナルノカ御出シニナラヌノカ、分ラヌノデ御出シニナラヌナラバ御出シニナラヌ所デ此所デヤル、御出シニナルナラバソレハ此日本銀行ト相待ッテヤレバ兌換券ノ増發ノ事カラ割出シ商業銀行ノ本務カラ割出シ、動產抵當銀行ノ本務ノ關係カラ割出シテ往ケバ此案ハ直キニ決スルカラ其可否ハ半日ニ極マルト思フガラ御出シニナルナラフマデ待ツテ、ソレヲ拜見シタ上デ極メタ方ガ宜カラウ、サナケレバ矢張リ私ハ日本銀行條例ノ第十二條ノ明文ヲ犯シタ業務ノ提灯持ヲスルヤウデ甚ダ心苦シイカラ其事ヲ申シテ置ク

○委員長(侯爵細川護成君) 唯今金子君カラ先決問題ノ動議が出テ岡部子爵ノ贊成ガアリマスカラ此兩方トモ決ハ少シ御猶豫ヲ願シテ銘々考慮シタ上ニ願ヒタイ、今日此決ヲ採ルコトハ御猶豫ヲ願ヒマス

○金子堅太郎君 チヨット、南郷サンノハ私ノ先決問題モ決ヲ採ラヌト云フノデアリマスカ

○南郷茂光君 先決問題モ本問題モ雙方共ニ決ヲ採ルコトヲ延バシテ考慮ノ猶豫ヲ與ヘラレタイ

○金子堅太郎君 ソレデハ先決問題ノ性質ニハナリマセヌガネ

○子爵岡部長職君 本員ハ過日大藏大臣ノ御説明ニ依ツテ近イ中ニ必ズ案ガ出ルダラウト信シテ居リマスカラ金子君ノ說ニ贊成シマシタガ唯今又田尻次官カラノ御答辯デハ其時期ハマダ漫トシテ居ルヤウデ、本員ガ今日マデ信ジテ居タ所トハ大ニ異ナルヤウデアル、或ハ本員ガ先日ノ大藏大臣ノ御説明ヲ記憶シ誤ツタモノカト云フ疑モ起ツテ居リマス、ドウカ大藏大臣ヨリ尙本明瞭ニ我ミガ此案ヲ議スルノ参考材料トシテ動產銀行ノ今日ニ於ケル調査ノ進行ニ就テ何カ明カル答辯ノアルヤウニイタシタイ、ソレデナイト何モカモ方針ヲ極メルコトモ出來ナイ、唯今南郷君ノ御説ノ如ク先づ今日ダケハ止メルト云フヤウナ、今日ダケ止メルト云フコトハ譯ハナイガ、明日モ其通り明後日モ亦其通りデハ委員會ノ方針ノ極メ方ガアリマセヌカラ大藏大臣カラ我ミヲ満足セシメルヤウナ答辯ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス

○金子堅太郎君 チヨット、私ハ昨日大藏大臣ノ委員會ノ速記ヲ讀ミマシタガ

ラ私モ岡部子爵ノヤウニ解釋ヲシタ、即チ前年來動產銀行ノ隆盛ヲ希望スルカラ取調べタ、取調べガ濟ンダカラ是カラ内輪ノ閣議ヲ經メナケレバ明言ハ出来マセヌケレドモ、成ルベク速ニ提出スルト云フコトデアッタ、閣議ヲ極メルトマデ仰シヤツタカラ近イ將來ニ在ルコト、思ヒマシタカラ、サウ近イコトナラバ今急イデ議セヌデモト思ツタノデアル、アノ速記録ヲ御讀マセニナレバ直ク分ルコトデアル

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) チヨイト、金子君ノ御話ノ通りマダ閣議ニ掛ラズシテ法制局ニ在ルノデスカラ何日頃ニ掛ツテ何日頃ニ持出スト云フコトハ分リマセヌガ成ルベク閣議ヲ取急イデ此期ニ出スコトヲ務メヤウト云フノデアリマス

○金子堅太郎君 ソレデアルカラ出ルマデ待タウト云フノデアル、何モ此案ヲ握リ潰サウト云フノデハナイ、商業銀行條例ト動產抵當銀行條例ヲ見テ金貨制度ト兩々相駢シテ往クヤウニ將來ヲ見テ安心シテ議決シタイノデアル

○田中源太郎君 私モ今直ニ之ヲ議決シタイト云フ考デ金子君ニ反對シタノデハナイ、此委員ハ即チ日本銀行ノ案ヲ委託サレテ居ル委員デアルカラ動產銀行ノ案ガ出ナケレバ之ヲ調査セヌトカ審査セヌトカ云フコトハ不都合ナコトデ、其案が出タ所デ共ニ此委員ニ託サレルコトデアルヤ否ヤハ分ラヌコトデ、ソレガ出タラ参考ニシタイト云フニ過ギナノデアルカラ、出ヌカ出ナイカ分ラヌノニ、ソレガ出ナケレバ議セナイト云フノハ不都合タラウト申シタノデ、何モ今日直ニ必ズ議サヌナラヌト云フコトデハナイ、今日直ニデナクトモ決シテ不同意ハ申シマセヌガ、其案ガ出ナケレバ議サヌト云フ決議ハ先決問題トシテ不都合ト思ヒマス

○金子堅太郎君 同一ノ委員ニ付託セラレルカ否ヤハ議場ノ模様次第デアリマスガ斯様ナ關係アル案ノ同一ノ委員ニ付託サレタコトハ今マデ幾ラモ例ノアルコトデ、假ニ付託サレヌマデモミガソレヲ受取シテ見レバ本委員會ニ於テ之ヲ参考トシテ始メテ政府ノ方針ガ分ルコトデアルカラ本案ヲ議スル上ニ於テ之ヲ待ツコトハ必要デアラウト思フ、必ズシモ政府ガソレヲ出サナケレバ此案ヲ握リ潰スト云フノデハナイ

○三好退藏君 私モ矢張リ金子君ノ動議ニ贊成ラスル一人デアリマス、唯今大藏次官カラ答辯サレマシタ所デモ先日大藏大臣ノ言ハレタ所ト少シモ變リハナイト思ヒマス、マダ當議會モ餘程日數モアリマスコトデアリマス、サスレバ大藏大臣ガ成ルベク速ニト云フコトハ確ニ言ハレテ速記ニモ載ツテ居リマス、此言葉ヲ私ハ確ク信ジテ大藏大臣ガ成ルベク速ニ法案ヲ提出サレルト云フコトヲ疑ハヌノデアリマス、若シ此議會ノ日子ガ切迫シテ居リマスナラバ或ハ此所デ直ニ議決スル必要ガアルカモ知リマセヌケレドモ、サウ云フ法案ガ今出ルデアラウト云フコトヲ信ジテ居リマス以上ハ矢張リ此決議ハ暫ク見合セテ置キタイト云フ考デアリマス、ドウゾ金子君ノ動議ノ通リ先決問題

トシテ此所デ御決議アラムコトヲ希望イタンマス

○武井守正君 決ヲ御採リニナル前チヨツト一言シテ置キタイ、私ハ金子君ノ言ハレルヤウニソレ程動產銀行ニ關聯シタモノデハナイト思フノデ、併ナガラ咄嗟ノ間ニ果シテサウデアルヤ否ヤト云フコトハ調査シ得マセヌノデゴトナラバ此所デ直ニ議決スル必要ガアルカモ知リマセヌケレドモ併ナガラ退イテ能ク調査シ致究シタナラバ或ハ合點スルカモ知レヌト思ヒマス、故ニ今緊急動議ヲ決スルト云フナザイマスガ是迄考ヘテ居ル所デハソレ程關係ヲ持タナイカラ、是ハ是ダケデ決シテ宜イト信ジテ居リマスケレドモ併ナガラ退イテ能ク調査シ致究シタナラバ

○富田鐵之助君 私ハ金子君ノ先決問題ニ贊成ノアツタ以上ニハ贊否ハ固ヨリ決ノ上ノコトデアリマスガ委員長デ決テ採ラズニ置クト云フコトハナイ御處分ダラウト考ヘマス、ソレデ金子君ニ此所デ一應伺ツテ置キタイノハ成程速記録デ松方大藏大臣ノ申サレタ所ヲ見マスルト出サレルヤウニ力メテ成ル丈ヶ折角力メテ居ル所デアツテ……斯ウゴザイマスカラ御出シニナルヤウニ是ハ書イテアルノデアリマス、併ナガラ政府ノ模様デドウナルカ分リマセヌカラ若シ出サレナイトキハ此議會ニハ出サレルコトガ出來ナイト云フ事ガアリマシタナラバ再ビ此案ヲ議サレルト云フ事ニ金子君ハ御考ニナツテ居ルダラウト考ヘマス

○金子堅太郎君 勿論サウデス  
○富田鐵之助君 ソレヲ確メテ置イテ近々ニ御出シニナルナラバ金子君ニ同意ヲ表シマス

○金子堅太郎君 マダ私ガ注文シタ正金銀行ノ田中君ノ如キハモウ貳千萬圓モ割引ヲ殖サナケレバナラヌト云フ御議論ガ出テ是カラ壹億貳千萬圓増發ノ事ニ就テハ今壹千萬兩ヤル貳千萬兩モヤルト云フコトニナレバ正金銀行ノ事モ私ハ十分質問ヲシテ決スルガ必要ト思ヒマス、ソレモ政府カラ御提出ニナラヌカラ各餘程御決シニナルニ就テハ必要ナ材料ト認メルソレモ來ズニ居ルカラ兎ニ角動產銀行ノ事ハ大藏大臣ナリ大藏次官ノ御説明ノ通ダカラ……併シ是モ旦夕ニ迫ツタ問題デナイカラドウカ兎モ角モ此案ノ参考トシテ我ミガ議セラル、マデ御猶豫ヲ願ヒタイ

○委員長(侯爵細川護成君) 武井君ニチヨツト申シマス、武井君ノ唯今御述ベニナリマシタノハ金子君ニ御相談ニナリマシテ金子君ガ若シ取消サレルト云フ事デアレバ兎モ角モ既ニ金子君ノ動議ハ贊成ガアツテ成立ツテ居リマスカラ、決ヲ採ラヌト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマス

○武井守正君 金子君ニ御相談シマスガ、本日ハ何レノ決モ採ラズシテ御延バシニナルヤウニ此席ニ於テハ緊急動議ヲ御引込ミ下サル譯ニハ相成リマスマイカ

動產銀行ノ如キハ尤モ必要デアルカラ先ツ御延バシニナル方ガ宜カラウ  
○武井守正君 決ヲ採ルト云フ事ハ無論デスガ、アナタノハ條件付ニ延バス  
ト仰シヤルノデ動產銀行ガ出ルマデハ延バス即チ條件付デアリマス、之ヲ悪  
ク換言スレハ政府ヲ脅迫スルト云フモノデアル、サウデナクシテ今日本案ニ  
對シテ決ヲ採リ尙ホ且アナタノ緊急動議ノ決ヲ採ラレヌヤウニ延バシタイト  
私ハ言フノデアル、アナタハマダ正金銀行ノ調ガ來ヌカラ云々ト仰シヤルガ  
即チ其決ヲ採ル上ニ於テモ……本案ニ對シテ決ヲ採ル上ニ於テモ延バシタイト  
緊急動議ハサウデハナイ動產銀行ヲ見テサウシテ判斷ヲスルト云フアノデアル  
ガソレノ決議モ延バス、即チ條件付ノ緊急動議ヲソレヲ此席デハ御取消シ下  
スカタラドウデアラウト云フノデアル

○金子堅太郎君 私ガ國家ヲ憂フルノ一念ハ決シテ諸君ニ讓ラヌ積リデアリ

マス、又此明治政府ヲ脅迫スルガ如キ事ハ我々ハ毫モ念頭ニナシ、我々モ不  
肖ナガラ内閣ノ國務大臣ノ一人ニ居ツテ決シテ此動產銀行ヲ出サメ間ハ本案  
ヲ議セヌト云フヤウナ脅迫ケ間シイ事ハ言ハナイ國家ニ對シテ政府ニ對シテ  
我々ハソンナ事ヲ言フ意義ハナシ、然ルヲ此銀行ノ問題タルヤ國家金融ノ機  
關延イテ政府ノ財政、國民ノ經濟ニ及ボス事重大ナルガ故ニサウ大事ナ問題  
ダカラ其案ヲ見テ我々ガ極メレバ安心シテ政府ノ案ニ同意スルカモ分ラヌ、斯  
又安心シテ田中君ノ千分ノ七論ニ贊成スルカモ分ラヌ、兎モ角モ各種ノ問題  
ガ牽連シテ居ル財政ノ問題デアルカラソレヲ見ルマデハドウモ如何程論ジタ  
所ガ唯ミ無用ノ時間ヲ費スノミデアルカラ政府ガ速ニ御出シニナルナラバソ  
レヲ見タ上デ極メヤウ、決シテ政府ヲ脅迫ヲシタノデハナイ、實ニ私ハ國ヲ憂  
ヒ他日國ノ經濟ノ上ニ容易ナラザル關係モ及ボスト云フコトモ見居ル爲ニ此  
論ヲ發スル以上ハ何ニモ心ニ疚シキコトハナイ、又幸ニ委員會ノ中デモ御賛  
成下スシタ以上ハ我輩ノ先決問題ガ否決ニナラウト成立タウトソレハ委員會  
ノ多數ニ私ハ御任セスル、決シテ未練ナ事ハ申シマセヌカラ何卒私ノ提出ノ  
先決問題ノ決ヲ御採リアラムコトヲ希望致シマス

○男爵毛利五郎君 金子サンニチヨツト御相談致シマスガ、マダ政府ノ意向

ハ出スカ出サヌカ、ドッヂニモ極マツテ居リマセヌカラドウゾ日限ヲ切ツテ  
猶豫ナスカタラドウデゴザイマセウカ二週間トカ三週間内ニ政府ト又大藏大  
臣トモ能ク一ツ御交渉ナスツテ確カニ出スカ出サヌカト云フコトヲ御聞キニ  
ナツテ愈ミ出サヌト云フ事ニナレバ……ドッヂニシテモ早ク出スヤウデアッ  
タナラバ此議會ノアル間ニ委員會ノ決議ヲシテ決シマスガ宜カラウト思ヒマ  
ス、併シ若シ之ヲ出サヌト云フトキハ矢張リ遲クナルノモナンデアルカラ  
ウゾソレハ早く御決シニナツカ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、二週間トカ三  
週間ト云フ日限ヲ待テサウシテ又委員會ニ掛カラレルト云フ方ニ爲スシテ  
ハドウデゴザイマス

○金子堅太郎君 私ハ動產銀行ヲ見テ参考ニシテ之ヲ極メタイデアリマスカ  
ラソレデ御極メニナレバ政府委員モ御出デニナツテ居ルカラ政府ノ方ヘ此決  
ハドウデゴザイマス

議ヲ御通知ニナレバ日ハ限ラズトモ速カニ出テ來ルダラウト思ヒマス、若シ  
ソレニシテモ五日モ十日モ出ナケレバ此案ハ進行シテ宜シイト思ヒマス、兎  
ニ角今日ハ私ノ意見ヲ御採用下サレテ御延ベニナルコトヲ希望シマス、サウ  
スレバ政府ノ方デモ田尻次官以下ノ政府委員ハ我ニノ精神ヲ能ク御承知ノ事  
ダカラ動產銀行ノ提出ヲ御盡力ニナツテ速ニ御提出ニナル事ト信ジマス

○子爵岡部長職君 唯今金子君ノ辯明サレル通り又三好君ガ金子君ノ發議ニ  
對シテ同意ヲ表サレタ通りニ動產銀行ノ方ガ出ナケレバモウソレマデ、此委  
員會ハドウシテモ開カナイト云フ決議ヲスルト云フ精神デ贊成シタノデハナ  
イ、唯先日大藏大臣ノ答辯モアツテ見レバ近イ内ニ必ラズアノ案ガ出ルダラ  
ウカラソレヲ參考シテ議シタイト云フニ止マル、出ナカッタナラバ出ルマ  
少シモ此議事ハ進行シナイモノデアルト云フコトヲ確乎ト此處デ決議スル程  
度ノ精神デハナシ、唯一ツ信ジテ居ル所ヲ以テ將來ヲ希望シテ其間幾分カノ  
時間ヲ與ヘテソレヲ待タウト云フニ止マルソレニ就テ私ガ金子君ニ贊成シマ  
シタノハソレニ止マル、非常ナ窮窟ナモノデハナイ

○田中源太郎君 私モ強ヒテ申スノデヤゴザイマセヌケレドモ金子君ノ決議  
ハ矢張リ此儘デ動產銀行ガ出ナカツタナラバ委員會ハ此儘止ンデ仕舞フ、斯  
ウ云フ條件ヲ附ケテ決議スレバ大藏大臣ガアノ意見ヲ述ベラレマシタ所ガ内  
閣デ否決シテ出ナカツタラ此會ハ誰モ開クモノハナイ金子君ノ條件附ノ決議  
ダトサウナツテ仕舞ヒマス、之ヲ一週間延バストカ云フノトハ違ウテ動產銀  
行ノ法案ガ出ナケレバ出ルマデ此會ヲヤラセヌト云フコトデスカラ出ルマデ  
待ツト云フコトデアルカラ開ク時期ガナイカモ知レマセヌ、又出ヌト云フ事  
ハイツドウシテ極マルカソレヲ政府カラ決シテ議會ヘ對シテ……或ハ一人ニ  
對シテハ内意ヲ傳ヘルカモ知レマセヌガ議會ヘ對シ此委員會ヘ對シテ動產銀  
行法案ハ今年出サナケレバナラヌト云フコトハナイ又受ケル權利モナシ又出  
ス義務モナイ、サウシテ見レバ動產銀行法案ヲ見ルマデ止メルト云フコトデ  
アルト出ナカツタナラバ此會ハ止メルサウ云フ不都合ナ決議ハ委員會デハ出  
來ナイ、之ヲ可決スルトカ否決スルトカ修正スルトカ修正スルトカ否  
リマスガ未必ノ條件ヲ設ケテ此ノ條件ヲ付ケテ此會ヲ延バスト云フコトハ甚  
ダ不都合ナコトト思フノデ餘日ガ澤山アルト言ヒナガラ若シモ衆議院ノ案ヲ  
多少動カスト云フコトニナリマスレバ協議會ト云フモノモアリマスルシ餘日  
ガアルヤウデモ其手間ト云フモノハ中ミ暇取ルモノデアル、ソレデ時日ヲ切  
ラズシテ唯一ノ動產銀行ヲ大藏大臣ガ調べテ出シタイ積デ御調ニナツテ居リ  
マシヤウガ又闇議デドウナルカラヌト云フコトハ全ク未必ノ條件デソレガ  
出ナケレバ此案ヲ議サヌト云フコトハ餘程不都合ト思ヒマス

○金子堅太郎君 私ハ大藏大臣ノ言葉ナリ田尻政府委員ノ言葉ヲ信シテ速ニ  
出ヌト云フコトヲ信ジマシテ速カニト云フコトヲ我ニガ解釋スルノニ四五日  
位ト云フコトデ一ヶ月トカ二ヶ月トカ云フノハ速デハアルマイ、既ニ此案タル  
ヤ明治十五六年頃ニ大藏省ニ出來テ居ル又前大藏大臣ノ如キハ案ヲ備ヘテ居

職ノ後財政經畫トシテ世ニ公ニサレテ居ル、ソレデ速ニト云フコトハモウ既ニ兩三日ヲ私ハ意味シテ居タト思フカラ別ニ毛利男爵ノ如ク十日トカ一週間トカ云フコトヲ限ラズシテ出ルコトダラウト思フ、若シモ五六日掛クテモ出ヌトキハ更ニ私共ハ出ヌト云フトキニナレバ其時ハ委員長ニ要求シテ本會ノ進行ヲ促シテ早ク兌換券條例ナリ日本銀行條例ノ改正ナリガ進ムヤウニシヤウ又國家ノ進運ニ伴フダケノ法律ヲ立て、往カウト云フコトハ我ニハ決シテ他人ニ譲ラヌノデアル、政府ヲ脅迫スルノデハナイ、無期限デ握潰シニスルト云フ譯デハナイ、速ニ議會ニ出ス順序ヲシテ居ルト云フコトデアルカラツレヲ出スコトガ近イコトデアラウト思ヒマス、ソレヲ議シタ上デ我ニガ此案ヲ議スルノガ宜カラウト云フノデアリマス

○田中源太郎君

二週間休ムト云フコトナラ御同意致シマス

○金子堅太郎君

ソレデハ二週間ト致シマセウ

○委員長(侯爵細川護成君)

金子君ニチヨット申シマスガアナタノ動議ヲモ

ウ一度ドウカ……

○金子堅太郎君 然ラバ諸君ノ御意見モゴザイマシ  
タ如ク如何サマ私ガ無期限ト申シタノデ或ハ武井君ノヤウナ御説ガ出ルカモ  
知レマセヌ二週間此委員會ノ進行ヲ中止シテ其後ニ何トカ政府ノ方ガ分リマ  
セウカラサウシテ此議事ヲ進行スルト云フコトヲ更ニ發議致シマス

(「贊成」ト呼フ者多シ)

○子爵岡部長職君 二週間以内ニ於キマシテ唯今ノ金子君ノ希望スルコトガ事實ニナリ來タナラバ二週間ヲ待タズシテ開クコトガアルカモ知レマセヌ  
○委員長(侯爵細川護成君) 別ニ御異議ガナケレバ二週間延期スルト云フコトニ致シマス然ラバ是デ散會致シマス

午後二時三十五分散會

明治三十二年一月十六日印刷

明治三十二年一月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局